



2021年 3月期 第2四半期 決算説明資料

2020年11月10日

石油資源開発株式会社

I. 業績ハイライト・事業の概況

代表取締役社長 社長執行役員 藤田 昌宏

II. 2021年3月期 第2四半期決算の概要

III. 2021年3月期 業績予想の概要

取締役 常務執行役員 山下 通郎

※本資料は2020年11月11日開催予定の機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会資料を兼ねております。

I. 業績ハイライト・事業の概況

業績ハイライト/株主還元

■ 21年3月期 第2四半期決算（前期実績比）

- ✓ 福島天然ガス発電所*1運転開始にともなう電力販売開始も、原油価格の大幅下落や新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた販売数量減少などにより減益

単位：億円	20/3月2Q期実績 (a)	21/3月2Q期実績 (a)	比較増減	
売上高	1,623	981	▲642	▲40%
営業利益又は営業損失 (▲)	77	▲62	▲140	-
経常利益は経常損失 (▲)	136	▲68	▲204	-
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失 (▲)	120	▲69	▲190	-

■ 21年3月期 通期業績予想修正（8/11公表予想比）

- ✓ 希釈ビチューメンの販売価格上昇および販売数量増加による収支改善、為替差損の縮小を見込む

単位：億円	8/11公表予想 (f)	11/10公表予想 (f)	比較増減	
売上高	2,199	2,080	▲118	▲5%
営業損失 (▲)	▲77	▲53	+23	-
経常損失 (▲)	▲54	▲24	+29	-
親会社株主に帰属する当期純損失 (▲)	▲65	▲19	+46	-

■ 株主還元

- ✓ 2021年3月期の1株当たり配当について、従来予想を維持 年間50円（中間25円・期末25円）

注）*1 当社を含む民間5社が事業パートナーとして出資する福島ガス発電(株)（当社出資比率33%）が管理運営

21年3月期 これまでの事業の主な進捗

■ 事業推進：うち□は成長投資／●実証・検討段階：うち○は成長投資（候補含む）

E&P事業

【国内生産量維持・埋蔵量追加】

- 北海道・勇払油ガス田浅層開発：原油生産開始（6月）

【海外プロジェクト推進・収益性向上】

- イラク・ガラフ油田：コロナ禍などの影響で現地操業を一時休止（生産操業は7月に再開）

コロナ影響

- イラク・ガラフ油田追加開発の2020年末日量23万バレル規模への増産は、翌年以降にずれ込む見込み
- 英領北海シーガル鉱区（2021年末生産開始予定）の開発スケジュールに影響が出る可能性あり
- 国内外既存プロジェクトへの投資や海外ポートフォリオの見直しは、原油価格など市況などをみながら検討継続中

インフラ・ユーティリティ（I/U）事業

【原油価格の影響を受けにくい事業基盤】

- 福島ガス発電(株)（FGP）*1福島天然ガス発電所：全面営業運転開始（8月）
 - ・ 相馬LNG基地への2号LNGタンク、気化設備の増設：全面操業へ移行（8月）

【再生可能エネルギー開発】

- 国内大型洋上風力発電：秋田北部・秋田中央・山形遊佐沖の入札を目指す検討コンソーシアムへ参画

コロナ影響

- コロナ禍拡大による国内ガス販売量の一時的な減少も、柔軟なLNG調達や電力販売量上積みで一定の収益を確保

新規事業

【新たなビジネスモデル構築】

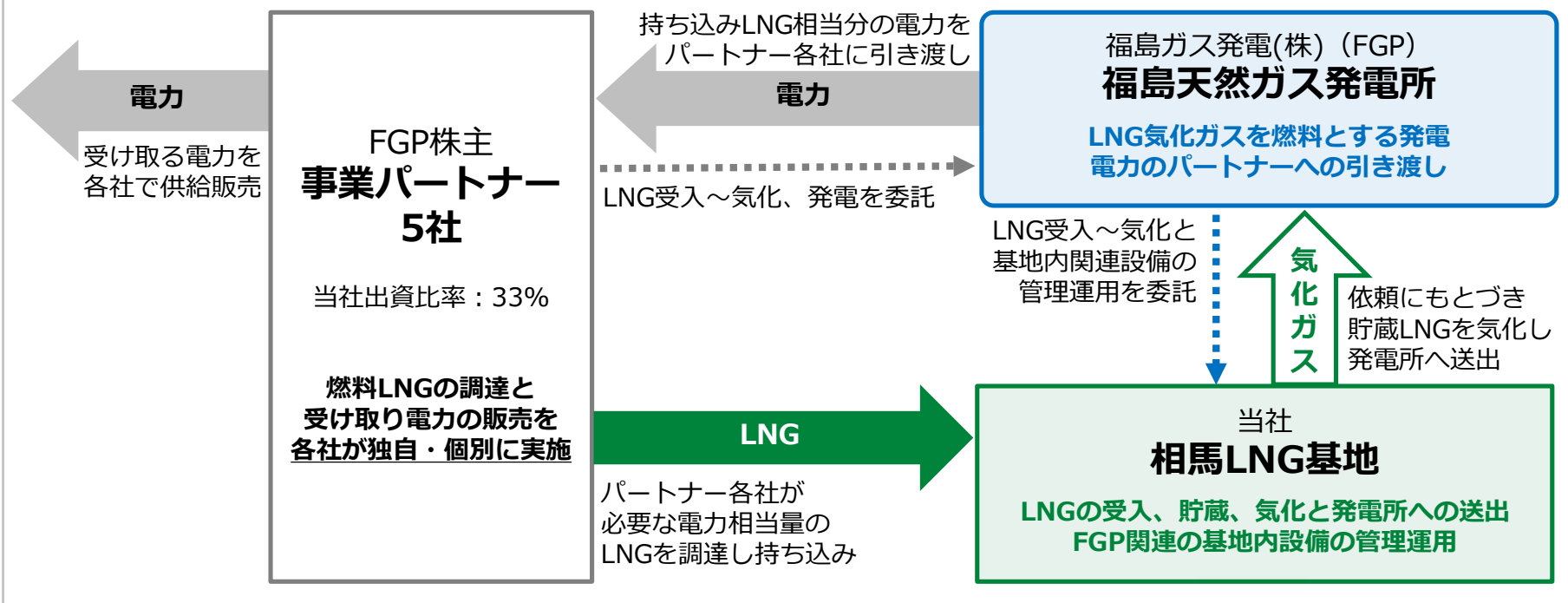
- 輸送トラック燃料のLNG転換：導入に向けた業種横断的な検討協議会を、北海道と東北で立ち上げ（9月）

注）*1 当社を含む民間5社が事業パートナーとして出資する特別目的会社（当社出資比率33%）

電力：相馬港天然ガス火力発電事業 発電所営業運転開始

- **本発電事業の意義**
 - ✓ LNGを発電燃料とする環境負荷の低い電力の安定かつ柔軟な供給
 - ✓ 「福島イノベーションコースト構想」や、周辺地域の経済・産業集積への貢献
- **当社収益への貢献**
 - ✓ 原油価格に左右されにくい事業基盤としての電力販売の開始
 - ✓ トーリング方式にもとづく、発電燃料LNGの基地受け入れ～気化送出手の受託業務収入

トーリング方式の流れ



21年3月期 これまでのESG施策の主な進捗

E 環境 (Environment)

【低炭素化への貢献】

- ✓ 経済産業省「ゼロエミ・チャレンジ企業」にリストアップ (10月)
 - ・ NEDO*1事業「CCUS研究開発・実証関連事業」「超臨界地熱発電技術研究開発」における当社活動が対象

S 社会 (Social)

【エネルギーの安定供給】

- ✓ **【コロナ対応】** 相馬LNG基地における非接触荷役対応 (4月～)
 - ・ 外航船から基地へのLNG受入作業で、安全を確保しながら対人接触を減らすプロセスを検討・導入

【魅力ある職場づくり】

- ✓ **【コロナ対応】** 「新しい生活様式」に対応する勤務形態の試行・拡大 (4月～)
 - ・ 在宅勤務制度のトライアル実施、フレックス制度のコアタイム撤廃
 - ・ リモートアクセス環境の追加整備、社外を含むオンラインミーティングの推奨
 - ・ 入社/在宅勤務者間のコミュニケーション活発化のためのガイドライン作成
- ✓ 「JAPEX健康経営宣言」の制定 (10月)
 - ・ 従業員とその家族の健康維持増進が経営課題であることを明確化

G ガバナンス (Governance)

【経営体制強化】

- ✓ 社外取締役増員、取締役任期短縮、役員報酬制度改定 (6月)
 - ・ 社外取締役は今回の増員 (3→4名) で全取締役に占める割合が3分の1以上に

【ガバナンス強化】

- ✓ 「国連グローバル・コンパクト」へ参加 (5月)

【リスクマネジメント】

- ✓ **【コロナ対応】** コロナ禍での事業継続体制の構築・運用 (2月～)
 - ・ 既存の事業継続計画をもとに、感染予防のための全社徹底事項や情報伝達・意思決定プロセスなどを随時検討

コロナ禍の影響を
最小限に抑えるための
施策を全社的に展開

国内の油ガス田や
ガス供給設備は
通常操業を継続中

注) *1 国立研究開発法人新エネルギー産業技術総合開発機構

Ⅱ. 2021年3月期 第2四半期決算の概要

21年3月期 第2四半期 E&P事業販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	20/3月期 2Q(a)		21/3月期 2Q(a)		増減		
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高	
E&P事業	-	-	93,417	-	37,547	-	-	① ▲55,870 ▲60%

(内訳)

原油	千KL	1,469	68,902	1,126	28,452	▲343 ▲23%	▲40,450 ▲59%
- 国産原油		147	7,371	138	3,726	▲9 ▲6%	▲3,645 ▲49%
- 海外原油*1		629	28,719	187	4,701	② ▲442 ▲70%	▲24,017 ▲84%
- 買入原油		692	32,812	800	20,024	+107 +16%	③ ▲12,787 ▲39%
希釈ビチューメン*2		838	23,385	613	7,757	④ ▲224 ▲27%	▲15,627 ▲67%
天然ガス・海外販売*3	百万M3	212	1,129	229	1,336	+16 +8%	+207 +18%

主な増減要因

- ① 海外原油の販売量の減少および販売価格の下落や、買入原油ならびに希釈ビチューメンの販売価格の下落
- ② イラク ガラフ油田 販売量の減少および販売価格の下落
- ③ SODECO買入原油 販売価格の下落
- ④ カナダ ハンギングストーン鉱区 販売価格の下落および生産抑制による販売量の減少

注) *1 海外連結子会社 株式会社ジャベックスガラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティー控除後の数値

*3 海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値

21年3月期 第2四半期 インフラ・ユーティリティ事業販売実績【前年同期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	20/3月期 2Q(a)		21/3月期 2Q(a)		増減		
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高	
インフラ・ユーティリティ事業	-	-	40,303	-	43,982	-	-	① +3,679 +9%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万M3	533	28,232	520	25,059	② ▲12 ▲2%	▲3,173 ▲11%
- 国産天然ガス		270	-	216	-	▲53 ▲20%	-
液化天然ガス	千トン	149	10,319	94	6,475	③ ▲54 ▲36%	▲3,843 ▲37%
電力	百万kWh	1	72	1,274	10,042	④ +1,272 +70,599%	+9,969 +13,796%
その他*1	-	-	1,679	-	2,405	-	+725 +43%

主な増減要因

- ① 電力販売量および気化受託収入の増加
- ② 販売価格の下落およびコロナ禍の影響などによる販売量の減少
- ③ 販売量の減少
- ④ 福島天然ガス発電所の営業運転開始にともなう電力販売量の増加

注) *1 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

21年3月期 第2四半期 決算概要【前年同期比】

単位：百万円	20/3月期 2Q (a)	21/3月期 2Q (a)	増減	
売上高	162,346	98,127	▲64,219	▲40%
売上総利益	23,101	8,884	▲14,217	▲62%
営業利益又は営業損失 (▲)	7,730	▲6,271	▲14,001	-%
経常利益又は経常損失 (▲)	13,636	▲6,837	▲20,473	-%
親会社株主に帰属する当期純利益又は 当期純損失 (▲)	12,069	▲6,975	▲19,045	-%

原油価格と為替等の実績

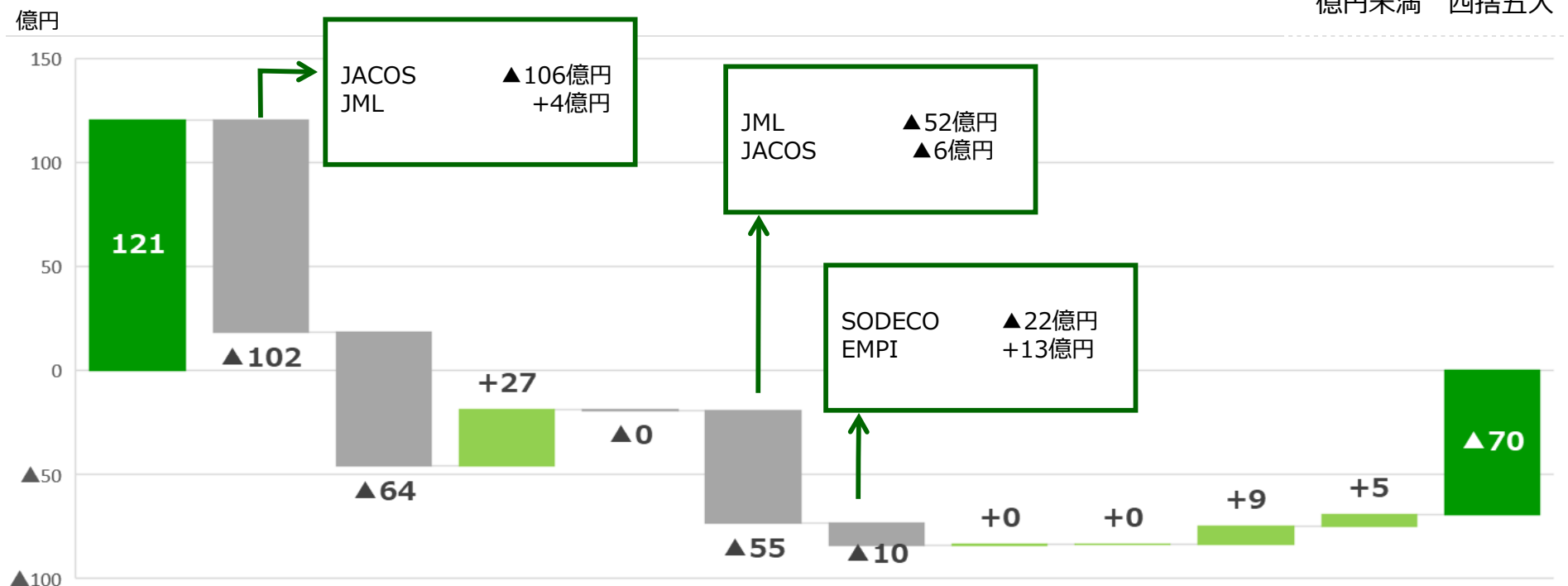
		20/3月期 2Q (a)	21/3月期 2Q (a)	増減
WTI	USD/bbl	57.51	39.59	▲17.92
原油CIF (JCC)		69.13	38.11	▲31.02
為替	円/USD	109.78	107.46	▲2.32
JACOS 希釈ビチューメン*1	USD/bbl	41.20	18.64	▲22.57
JML 天然ガス*2	CAD/mcf	1.82	2.09	+0.28

注) *1 海外連結子会社Japan Canada Oil Sands Ltd.の希釈ビチューメン販売価格 (ロイヤルティ控除後)

*2 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格 (ロイヤルティ控除後)

21年3月期 第2四半期 純利益増減分析【前年同期比】

億円未満 四捨五入



純利益	営業利益* ▲140億円					営業外損益 ▲65億円					純利益
20/3月期 2Q (a)	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差 損益	持分法 投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株 主利益	21/3月期 2Q (a)
20/3月期 2Q (a)	22	119	▲27	▲37	15	44	0	▲0	15	0	
21/3月期 2Q (a)	▲80	55	▲0	▲37	▲40	34	0	▲0	6	▲5	▲70

注) *営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

Ⅲ. 2021年3月期 業績予想の概要

21年3月期 E&P事業 販売予想修正【8.11公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想(f) 8.11公表		今回予想(f) 11.10公表		増減		
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高	
E&P事業	-	-	84,379	-	76,872	-	-	① ▲7,506 ▲9%

(内訳)

原油	千KL	2,529	63,771	2,117	53,840	▲412 ▲16%	▲9,930 ▲16%
- 国産原油		319	8,980	301	8,176	▲18 ▲6%	▲803 ▲9%
- 海外原油*1		709	16,858	548	13,280	② ▲160 ▲23%	▲3,578 ▲21%
- 買入原油		1,500	37,932	1,266	32,384	③ ▲233 ▲16%	▲5,548 ▲15%
希釈ビチューメン*2		1,273	17,807	1,303	20,142	④ +29 +2%	+2,334 +13%
天然ガス・海外販売*3	百万M3	498	2,800	489	2,889	▲9 ▲2%	+89 +3%

主な増減要因

- ① 海外原油および買入原油の販売量の減少
- ② イラク ガラフ油田 販売量の減少
- ③ SODECO買入原油 販売量の減少
- ④ カナダ ハンギングストーン鉱区 販売量の増加および販売価格の上昇

注) *1 海外連結子会社 株式会社ジャペックスガラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティー控除後の数値

*3 海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値

21年3月期 1000万・1000億円事業販売予想修正【8.11公表予想比】

売上高単位：百万円	販売量単位	前回予想(f) 8.11公表		今回予想(f) 11.10公表		増減		
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高	
インフラ・ ユーティリティ事業	-	-	91,725	-	93,454	-	-	① +1,728 +2%

(内訳)

天然ガス・国内販売	百万M3	1,125	49,330	1,115	49,262	▲10	▲1%	▲68	▲0%
- 国産天然ガス		482	-	489	-	+6	+1%	-	-
液化天然ガス	千トン	291	15,796	284	16,055	▲6	▲2%	+258	+2%
電力	百万kWh	2,867	22,055	2,955	23,474	② +87	+3%	+1,419	+6%
その他*1	-	-	4,542	-	4,662	-	-	+119	+3%

主な増減要因

- ① 電力販売量の増加および販売価格の上昇
- ② 販売量の増加および販売価格の上昇

注) *1 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

21年3月期 業績予想修正【8.11公表予想比】

単位：百万円	前回予想(f) 8.11公表	今回予想(f) 11.10公表	増減	
売上高	219,923	208,075	▲11,848	▲5%
売上総利益	23,962	26,805	+2,843	+12%
営業損失（▲）	▲7,763	▲5,378	+2,385	-%
経常損失（▲）	▲5,429	▲2,462	+2,967	-%
親会社株主に帰属する当期純損失（▲）	▲6,517	▲1,900	+4,617	-%

原油価格・為替等の前提

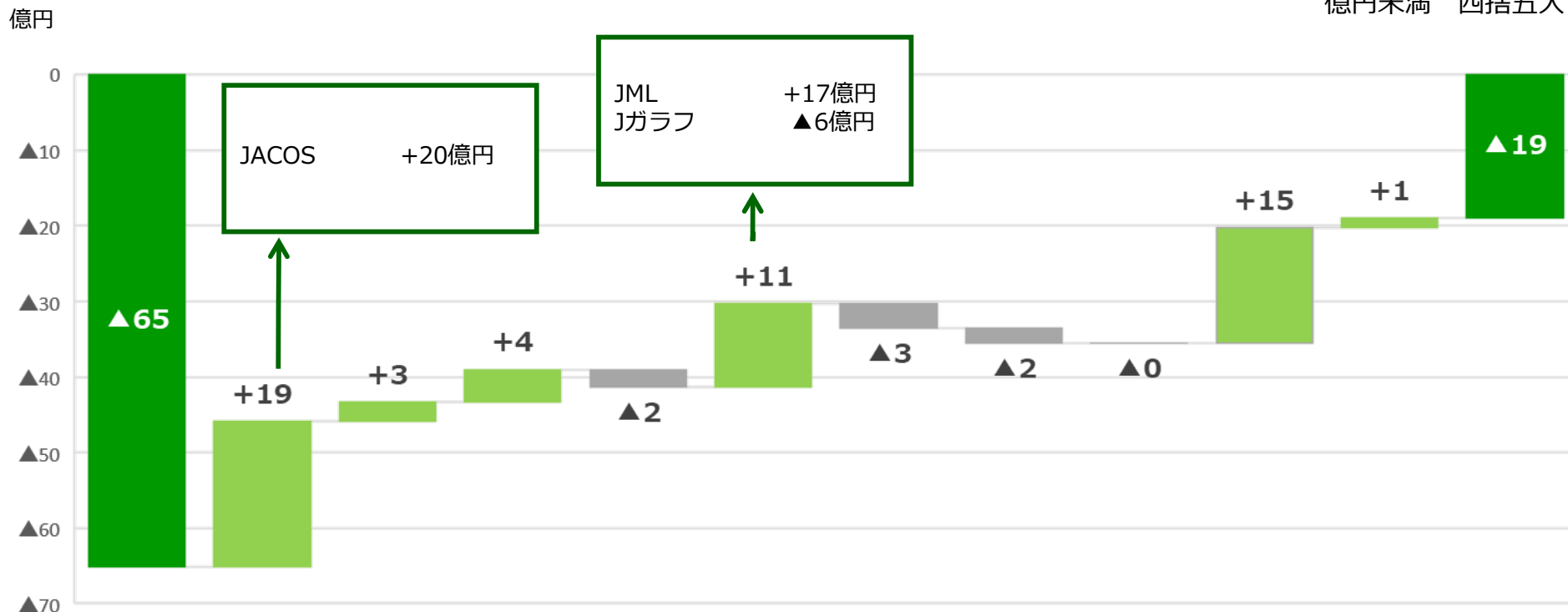
		前回予想(f) 8.11公表	今回予想(f) 11.10公表	増減
WTI	USD/bbl	37.55	39.08	+1.53
原油CIF (JCC)		40.80	39.14	▲1.66
為替	円/USD	108.01	106.65	▲1.36
JACOS 希釈ビチューメン*1	USD/bbl	20.58	23.18	+2.60
JML 天然ガス*2	CAD/mcf	2.01	2.09	+0.08

注）*1 海外連結子会社Japan Canada Oil Sands Ltd.の希釈ビチューメン販売価格（ロイヤルティ控除後）

*2 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格（ロイヤルティ控除後）

21年3月期 業績予想修正 純利益増減分析【8.11公表予想比】

億円未満 四捨五入



純利益	営業利益* +24億円					営業外損益 +6億円					純利益	
前回予想(f) 8.11公表	海外 E&P	国内E&P	I/U	その他		為替差 損益	持分法 投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株 主利益	今回予想(f) 11.10公表
前回予想(f) 8.11公表	▲137	74	48	▲62		▲37	54	5	▲0	18	▲7	
今回予想(f) 11.10公表	▲118	76	52	▲65		▲26	51	4	▲0	2	▲8	

注) *営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値



21年3月期 E&P事業販売予想修正【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	20/3月期 前期実績(a)		今回予想(f) 11.10公表		増減		
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高	
E&P事業	-	-	175,443	-	76,872	-	-	① ▲98,570 ▲56%

(内訳)

原油	千KL	2,924	128,152	2,117	53,840	▲807	▲28%	▲74,311	▲58%
- 国産原油		304	14,800	301	8,176	▲3	▲1%	▲6,624	▲45%
- 海外原油*1		1,123	45,372	548	13,280	② ▲574	▲51%	▲32,092	▲71%
- 買入原油		1,496	67,979	1,266	32,384	③ ▲229	▲15%	▲35,595	▲52%
希釈ビチューメン*2		1,639	45,025	1,303	20,142	④ ▲336	▲21%	▲24,883	▲55%
天然ガス・海外販売*3	百万M3	431	2,265	489	2,889	+58	+13%	+624	+28%

主な増減要因

- ① 海外原油、希釈ビチューメンの販売量の減少および販売価格の下落
- ② イラク ガラフ油田 販売量の減少および販売価格の下落
- ③ SODECO買入原油 販売量の減少および販売価格の下落
- ④ カナダ ハンギングストーン鉦区 販売量の減少および販売価格の下落

注) *1 海外連結子会社 株式会社ジャペックスガラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤリティー控除後の数値

*3 海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値

21年3月期 10万・100億円事業 販売予想修正【前期比】

売上高単位：百万円	販売量単位	20/3月期 前期実績(a)		今回予想(f) 11.10公表		増減		
		販売量	売上高	販売量	売上高	販売量	売上高	
インフラ・ ユーティリティ事業	-	-	88,688	-	93,454	-	-	① +4,765 +5%

内訳

天然ガス・国内販売	百万M3	1,268	64,965	1,115	49,262	② ▲153 ▲12%	▲15,703 ▲24%
- 国産天然ガス		582	-	489	-	▲93 ▲16%	-
液化天然ガス	千トン	273	19,395	284	16,055	+11 +4%	③ ▲3,339 ▲17%
電力	百万kWh	110	974	2,955	23,474	④ +2,845 +2,583%	+22,500 +2,310%
その他*1	-	-	3,353	-	4,662	-	+1,308 +39%

主な増減要因

- ① 電力販売量の増加
- ② 販売価格の下落およびコロナ禍の影響などによる販売量の減少
- ③ 販売価格の下落
- ④ 福島天然ガス発電所の営業運転開始にともなう販売量の増加

注) *1 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

21年3月期 業績予想修正【前期比】

単位：百万円	20/3月期 前期実績(a)	今回予想(f) 11.10公表	増減	
売上高	318,822	208,075	▲110,746	▲35%
売上総利益	47,042	26,805	▲20,237	▲43%
営業利益又は営業損失 (▲)	14,283	▲5,378	▲19,662	-%
経常利益又は経常損失 (▲)	32,635	▲2,462	▲35,097	-%
親会社株主に帰属する当期純利益又は 当期純損失 (▲)	26,815	▲1,900	▲28,715	-%

原油価格・為替等の前提

		20/3月期 前期実績(a)	今回予想(f) 11.10公表	増減
WTI	USD/bbl	57.14	39.08	▲18.06
原油CIF (JCC)		68.11	39.14	▲28.97
為替	円/USD	109.15	106.65	▲2.50
JACOS 希釈ビチューメン*1	USD/bbl	39.85	23.18	▲16.67
JML 天然ガス*2	CAD/mcf	1.77	2.09	+0.32

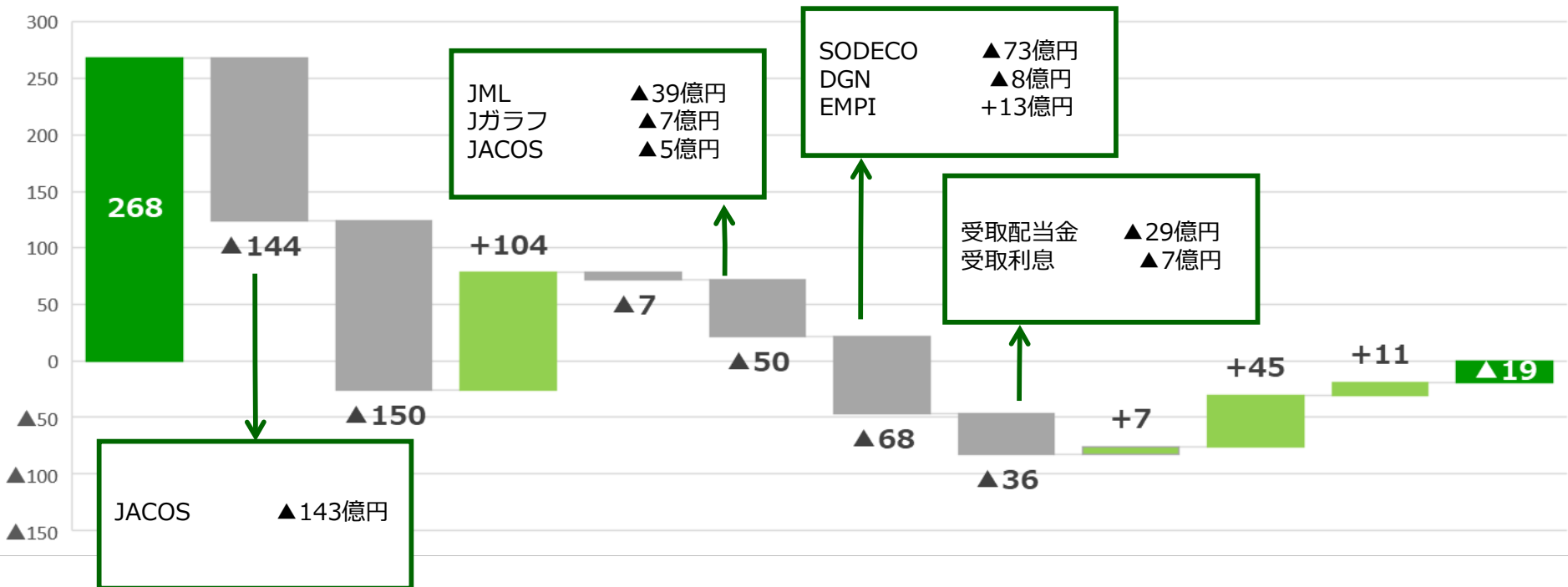
注) *1 海外連結子会社Japan Canada Oil Sands Ltd.の希釈ビチューメン販売価格（ロイヤルティ控除後）

*2 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格（ロイヤルティ控除後）

21年3月期 業績予想修正 純利益増減分析【前期比】

億円未満 四捨五入

億円



純利益	営業利益* ▲197億円					営業外損益 ▲154億円					純利益
	海外E&P	国内E&P	I/U	その他	為替差損益	持分法投資損益	その他	特別損益	法人税等	非支配株主利益	
2020年3月期実績(a)	27	226	▲52	▲58	24	120	40	▲7	48	3	
今回予想(f) 11.10公表	▲118	76	52	▲65	▲26	51	4	▲0	2	▲8	

注) *営業利益内訳の事業区分別のそれぞれの金額は、当社グループの内部管理上の数値

キャッシュ・フローおよび負債の状況

単位：百万円	20/3月期 (a)	21/3月期 (a)	20/3月期 (a)	21/3月期 (f)	
	2Q (累計)	2Q (累計)	通期	通期	
				8.11公表	11.10公表
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,061	14,769	69,895	27,685	25,450
減価償却費	12,422	10,455	25,190	22,030	22,201
生産物回収勘定の回収	26,583	3,161	41,040	14,153	10,667
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲11,353	▲813	▲18,701	▲29,213	▲29,855
有形固定資産の取得による支出	▲2,464	▲9,601	▲7,566	▲16,249	▲15,997
生産物回収勘定の支出	▲13,865	▲10,810	▲30,226	▲16,610	▲16,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲8,435	▲7,616	▲13,743	▲13,080	▲13,049

有利子負債*1	-	-	140,848	125,111	125,111
EBITDA*2	-	-	58,295	22,191	25,002
EBITDA有利子負債倍率（倍）	-	-	2.4	5.6	5.0

注) *1 有利子負債は、リース債務、退職給付に係る負債および偶発債務を含む

*2 EBITDAは、営業利益、減価償却費、投資キャッシュフローにおける利息および配当金の受取額の合計額

(参考) 「収益認識に関する会計基準」の適用による来期業績への影響

- ✓ 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)が2021年度期首より適用されることに伴い、一部の取引について「売上高」の計上基準を見直す予定
 - 主として、「売上高」「売上原価」の両建てで計上している原油や天然ガスの買入販売取引の一部について、総額表示から純額表示に変更することによる影響が生じる見込み
 - 2021年3月期業績予想の売上高 2,080億円に新基準を適用した場合、売上高が350億円程度減少する見込み(下表)
 - 「売上高」「販売数量」が減少する一方、営業利益や当期純利益への影響は生じない

2021年3月期業績予想に新基準を適用したシミュレーション

(金額単位：億円)

	21/3月期 今回予想	新基準適用 の試算額	差異		収益認識が見直される主な取引
			金額	数量	
E&P事業	768	453	▲315	▲1,240千KL	原油の買入販売取引の一部を総額表示から純額表示に変更
I/U事業	934	907	▲27	▲65百万m3	国内天然ガスの買入販売取引の一部を総額表示から純額表示に変更
その他	377	364	▲13		- 売上高に含めて計上している軽油取引税や石油ガス税を売上高から除外
売上高合計	2,080	1,724	▲356		

参考資料

1. 売上高内訳
2. 損益の状況
3. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）
4. 21年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ
5. 事業拠点および主要事業紹介
6. 略語集

1. 売上高内訳 E&P事業

金額：百万円	20/3月期(a)				21/3月期(a)			21/3月期(f)	
	1Q	2Q	2Q累計	通期	1Q	2Q	2Q累計	通期	
								8.11公表	11.10公表
売上高	54,133	39,284	93,417	175,443	22,904	14,642	37,547	84,379	76,872
原油販売量（千KL）	891	578	1,469	2,924	687	438	1,126	2,529	2,117
原油売上高	42,717	26,185	68,902	128,152	15,936	12,515	28,452	63,771	53,840
国産原油販売量（千KL）	79	68	147	304	60	78	138	319	301
国産原油売上高	3,997	3,374	7,371	14,800	1,800	1,926	3,726	8,980	8,176
海外原油販売量（千KL）*1	465	163	629	1,123	168	18	187	709	548
海外原油売上高	21,737	6,981	28,719	45,372	4,393	307	4,701	16,858	13,280
買入原油販売量（千KL）	346	346	692	1,496	458	341	800	1,500	1,266
買入原油売上高	16,982	15,829	32,812	67,979	9,742	10,281	20,024	37,932	32,384
希釈ピチューメン販売量（千KL）	402	436	838	1,639	410	203	613	1,273	1,303
希釈ピチューメン売上高*2	10,689	12,696	23,385	45,025	6,258	1,499	7,757	17,807	20,142
天然ガス海外販売量（百万M3）*3	108	104	212	431	111	118	229	498	489
天然ガス海外売上高	726	403	1,129	2,265	709	627	1,336	2,800	2,889
WTI（USD/bbl）	54.90	59.82	57.51	57.14	46.17	27.94	39.59	37.55	39.08
原油CIF（USD/bbl）*4	68.77	69.95	69.13	68.11	44.41	33.34	38.11	40.80	39.14
為替（円/USD）*4	111.11	108.26	109.78	109.15	108.04	106.88	107.46	108.01	106.65
希釈ピチューメン*2（USD/bbl）	37.98	44.20	41.20	39.85	22.30	11.29	18.64	20.58	23.18
JML天然ガス*5（CAD/mcf）	2.28	1.33	1.82	1.77	2.36	1.85	2.09	2.01	2.09

注）*1 海外連結子会社株式会社ジャベックスグラフ、JAPEX Montney Ltd.およびJapex (U.S.) Corp. の数値

*2 ロイヤルティ控除後

*3 海外連結子会社JAPEX Montney Ltd.およびJapex(U.S.)Corp.の数値

*4 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価実績および換算為替レート

*5 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格（ロイヤルティ控除後）

1. 売上高内訳 インフラ・ユーティリティ事業

金額：百万円	20/3月期(a)				21/3月期(a)			21/3月期(f)	
	1Q	2Q	2Q累計	通期	1Q	2Q	2Q累計	通期	
								8.11公表	11.10公表
売上高	23,171	17,131	40,303	88,688	20,997	22,985	43,982	91,725	93,454
天然ガス国内販売量 (百万M3)	267	266	533	1,268	248	271	520	1,125	1,115
天然ガス国内売上高	14,846	13,386	28,232	64,965	12,798	12,260	25,059	49,330	49,262
国産天然ガス販売量 (百万M3)	137	132	270	582	109	106	216	482	489
液化天然ガス販売量 (千トン)	111	38	149	273	53	41	94	291	284
液化天然ガス売上高	7,501	2,817	10,319	19,395	3,597	2,878	6,475	15,796	16,055
電力販売量 (百万kWh)	1	0	1	110	448	826	1,274	2,867	2,955
電力売上高	40	31	72	974	3,493	6,548	10,042	22,055	23,474
その他*1	783	895	1,679	3,353	1,108	1,297	2,405	4,542	4,662

注) *1 天然ガスの受託輸送収入および液化天然ガスの気化受託収入などを含む

2. 損益の状況

単位：百万円	20/3月期(a)				21/3月期(a)			21/3月期(f)	
	1Q	2Q	2Q累計	通期 (累計)	1Q	2Q	2Q累計	通期	
								8.11公表	11.10公表
売上高	93,252	69,093	162,346	318,822	51,018	47,108	98,127	219,923	208,075
E&P事業	54,133	39,284	93,417	175,443	22,904	14,642	37,547	84,379	76,872
インフラ・ユーティリティ事業	23,171	17,131	40,303	88,688	20,997	22,985	43,982	91,725	93,454
その他	15,948	12,678	28,625	54,690	7,116	9,480	16,597	43,818	37,748
売上原価	80,812	58,432	139,244	271,780	48,619	40,623	89,242	195,961	181,270
売上総利益	12,440	10,661	23,101	47,042	2,399	6,485	8,884	23,962	26,805
探鉱費	217	140	358	893	206	180	387	1,055	1,004
販管費	7,605	7,407	15,013	31,864	7,443	7,325	14,769	30,669	31,178
営業利益又は営業損失	4,617	3,113	7,730	14,283	▲5,250	▲1,021	▲6,271	▲7,763	▲5,378
営業外損益	4,292	1,613	5,906	18,351	▲4,325	3,759	▲566	2,334	2,915
受取利息	307	277	584	1,096	216	117	334	362	410
支払利息	▲1,237	▲1,196	▲2,433	▲4,641	▲972	▲809	▲1,782	▲2,685	▲2,574
受取配当	1,649	8	1,658	5,618	49	1,283	1,332	2,709	2,726
持分損益	2,390	2,015	4,405	11,960	2,116	1,250	3,366	5,444	5,112
海投損繰入・戻入	85	85	171	342	85	85	171	342	342
為替差損益	1,099	384	1,484	2,425	▲5,809	1,837	▲3,971	▲3,654	▲2,553
その他	▲3	38	35	1,550	▲10	▲6	▲17	▲185	▲547
経常利益又は経常損失	8,909	4,726	13,636	32,635	▲9,575	2,737	▲6,837	▲5,429	▲2,462
特別損益	▲4	▲14	▲19	▲731	▲3	▲11	▲15	▲28	▲39
税金等調整前当期純利益又は当期純損失	8,905	4,712	13,617	31,903	▲9,578	2,725	▲6,852	▲5,457	▲2,501
法人税	▲206	1,718	1,512	4,788	173	463	636	1,778	243
非支配株主に帰属する当期純利益又は当期純損失	159	▲124	34	299	▲215	▲298	▲514	▲718	▲844
親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失	8,951	3,118	12,069	26,815	▲9,536	2,561	▲6,975	▲6,517	▲1,900

2. セグメント損益の状況

単位：百万円		20/3月期 (a)				21/3月期 (a)			21/3月期 (f)	
		1Q	2Q	2Q累計	通期	1Q	2Q	2Q累計	通期	
									8.11公表	11.10公表
日本	営業利益	5,623	3,565	9,188	18,834	790	4,558	5,348	13,218	13,878
	持分法投資利益	59	22	82	152	157	27	185	362	145
北米	営業利益又は営業損失	1,311	1,477	2,788	3,422	▲4,223	▲3,268	▲7,492	▲12,606	▲10,374
	持分法投資損失	-	-	-	-	-	-	-	-	-
欧州	営業損失	▲71	▲14	▲85	▲164	▲42	▲18	▲61	▲156	▲149
	持分法投資利益又は損失	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中東	営業利益又は営業損失	▲169	235	66	612	301	▲83	217	230	101
	持分法投資利益又は損失	▲1	0	▲1	▲8	▲2	0	▲2	▲6	▲4
その他*1	営業損失	▲1	0	▲1	▲1	-	-	-	-	-
	持分法投資利益	2,331	1,994	4,325	11,816	1,961	1,223	3,184	5,087	4,971
調整額*2	営業損失	▲2,076	▲2,151	▲4,227	▲8,419	▲2,075	▲2,207	▲4,283	▲8,449	▲8,833
連結損益計算書計上額*3	営業利益又は営業損失	4,617	3,113	7,730	14,283	▲5,250	▲1,021	▲6,271	▲7,763	▲5,378

注) *1 持分法適用会社サハリン石油ガス開発株式会社およびEnergi Mega Pratama Inc.などを含む

*2 調整額の主な内容は、セグメント間取引消去および全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および試験研究費）

*3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っている

3. 業績予想の前提条件（原油価格・為替等）

市況前提			2020年				2021年	通期
			1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	
WTI	USD/bbl	前回	46.17*	28.02	36.70	35.00	-	37.55
		今回	46.17*	27.94*	40.84*	36.67	-	39.08
原油CIF (JCC)**	USD/bbl	前回	-	44.41*	40.00	40.00	40.00	40.80
		今回	-	44.41*	33.34*	40.00	40.00	39.14
為替**	円/USD	前回	-	108.04*	108.00	108.00	108.00	108.01
		今回	-	108.04*	106.88*	106.00	106.00	106.65

販売価格前提

JACOS 希釈ビチューメン***	USD/bbl	前回	22.30*	11.81	23.26	21.43	-	20.58
		今回	22.30*	11.29*	30.21	24.56	-	23.18
JML 天然ガス****	CAD/mcf	前回	2.36*	1.87	1.78	2.05	-	2.01
		今回	2.36*	1.85*	1.84	2.28	-	2.09

注) * 実績値

** 原油CIF価格を参照した国内原油販売単価実績および換算為替レート

*** 海外連結子会社Japan Canada Oil Sands Ltd.の希釈ビチューメン販売価格（ロイヤルティ控除後）

**** 海外連結子会社Japex Montney Ltd.の天然ガス販売価格（ロイヤルティ控除後）

4. 21年3月期予想における原油価格・為替等のセンシティブティ

(対象期間：今期3～4Q)

	21/3月期 3Q-4Q 前提	変動幅	影響額（百万円）		主な変動項目 + 増益効果/▲減益効果
			営業利益	親会社株主に 帰属する当期純利益 又は当期純損失	
原油価格	原油CIF価格 USD 40.00/bbl	USD 1 /bbl の価格上昇	10	20	+ 原油・天然ガス販売 ▲ LNG調達コスト増
	WTI USD 38.75/bbl		65	61	(上記のうち) + 希釈ビチューメン販売
為替	106.00円/USD	1 円/USD の円安	0	▲60	+ 原油・天然ガス販売 ▲ LNG調達コスト増
カナダ産 ガス価格	CAD 2.06/mcf 79.51円/CAD	CAD 1 /mcf の価格上昇	▲57	▲49	+ カナダシェールガス販売 ▲ オイルサンド生産コスト増

【前提】

- ・持分法適用会社の損益変動は、上記の影響額に含まれない
- ・為替変動の影響に関して、上記に示したものを以外に、外貨建金銭債権債務の為替レート換算差額が発生
また、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因に影響される

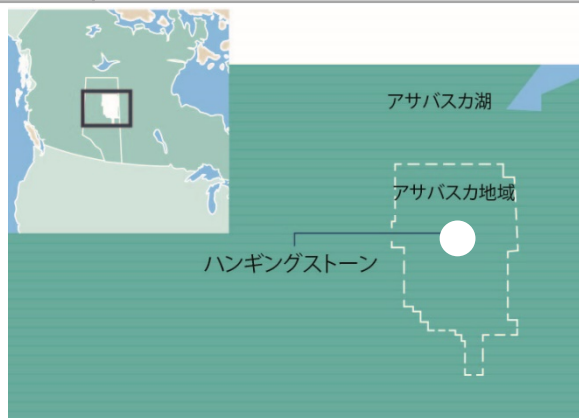
5. 主な原油・天然ガスE&P（開発生産）事業拠点



E&P事業：北米

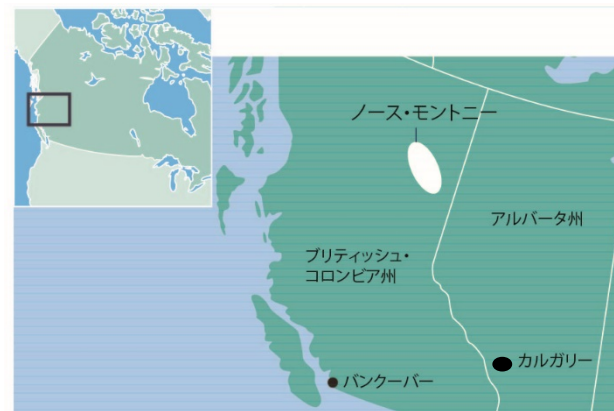
カナダ オイルサンドプロジェクト

プロジェクト会社	カナダオイルサンド(株) (CANOS) 当社出資比率94.58% 現地法人 Japan Canada Oil Sands Ltd. (JACOS)
鉱区名	ハンギングストーン鉱区 (オペレーター)
権益比率	75% (当社ネット 70.935%)
状況	生産 日量2万バレル規模を軸に市況をみながら柔軟な生産操業を継続中
生産量	日量1.8万bbl (20年1-6月平均、グロス)



カナダ シェールガスプロジェクト

プロジェクト会社	JAPEX Montney Ltd. (JML) 当社出資比率55%
鉱区名	ノース・モントニー鉱区
権益比率	10% (当社ネット 5.5%)
状況	生産/開発 経済性の高いエリアを優先する開発計画を策定し、事業価値および収益の最大化へ向けた取り組みを継続
オペレーター	Petronas Energy Canada Ltd.
生産量	日量1,264万M ³ 原油換算日量約7.4万bbl (20年1-6月平均、グロス)



E&P事業：欧州・中東

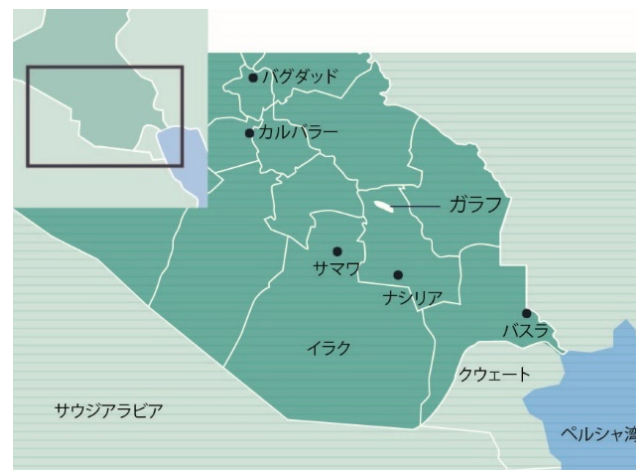
英領北海 シーガル海上鉱区

プロジェクト会社	JAPEX UK E&P Ltd. 当社出資比率100%
鉱区名	シーガル鉱区
権益比率	15% (当社ネット15%)
状況	開発 2021年末の生産開始に向け開発作業実施中 (コロナ禍の影響などにより流動的)
オペレーター	Neptune E&P UK Limited



イラク ガラフプロジェクト

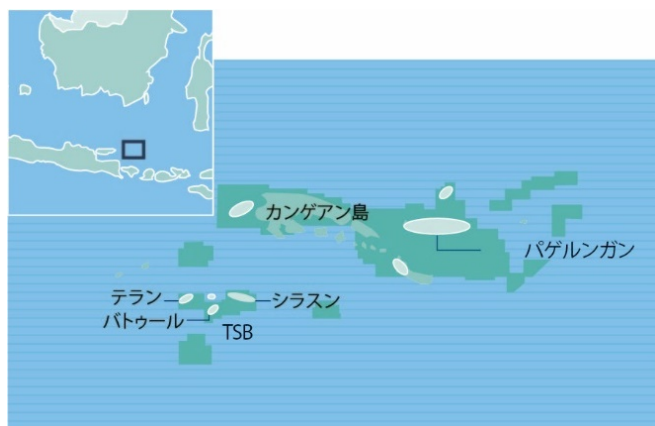
プロジェクト会社	(株)ジャペックスガラフ 当社出資比率55%
油田名	ガラフ油田
権益比率	30% (当社ネット 16.5%)
状況	生産*/開発 (生産量日量23万バレル規模への追加開発) ** *2020年3月中旬に生産/開発作業を一時休止、7月中旬から生産再開 **コロナ禍等の影響により、2020年末の23万バレル規模への増産達成は翌年以降にずれ込む見込み
オペレーター	PETRONAS Carigali Iraq Holding B.V. (PCIHBV)
生産量	日量約7.0万bbl (生産停止期間106日間を除く1-6月平均)



E&P事業：その他地域

インドネシア カンゲアンプロジェクト

プロジェクト会社	Energi Mega Pratama Inc. 当社出資比率25% 他2社
鉱区名	カンゲアン鉱区
権益比率	100% (当社ネット 25%)
状況	生産
オペレーター	Kangean Energy Indonesia Ltd.
生産量	日量495万M ³ 原油換算日量3.0万bbl (20年1-6月平均、グロス)



ロシア サハリン1プロジェクト

プロジェクト会社	サハリン石油ガス開発(株) (SODECO) 当社出資比率15.29%
鉱区名	チャイウオ、オドプトおよびアルクトン・ダギ鉱床
権益比率	30% (当社ネット 4.59%)
状況	開発／生産
オペレーター	Exxon Neftegas Ltd.



E&P事業：国内 / インフラ・ユーティリティ事業

(E&P事業) 国内油ガス田開發生産

- 油ガス田10か所で原油・天然ガスを生産中
 - ・ 北海道勇払油ガス田浅層原油生産開始（2020年6月）
- 国内における原油・天然ガスの生産量・埋蔵量の維持増加への取り組み
 - ・ 足元の国内埋蔵量の補填と生産量の維持増加を目指した、既存油ガス田周辺の開発検討
 - ・ 中長期的な埋蔵量増加を目指した、国の基礎調査などを活用した海域探鉱ポテンシャル検討

(インフラ・ユーティリティ事業) 国内天然ガス供給

- 自社の国内天然ガス供給ネットワークを用いた、国産天然ガスとLNGの一体供給
 - ・ 新潟・仙台間ガスパイプラインを中心とする総延長800km超の高圧ガスパイプライン網
 - ・ 北海道（勇払LNG受入基地）、福島（相馬LNG基地）、新潟（日本海エル・エヌ・ジー(株)新潟基地）のLNG拠点
 - ・ LNGを液体のままローリー、鉄道貨車、内航船などで広範囲へ輸送するLNGサテライト供給
- 福島天然ガス発電所*1の発電燃料LNGに関する受託業務（受入、貯蔵、気化と発電所への送出）実施

(インフラ・ユーティリティ事業) 電力

- 福島天然ガス発電所：全面営業運転開始（1号機2020年4月、2号機：2020年8月）
- 再生可能エネルギー：稼働中の北海道メガソーラー2か所の運用と、新規案件の発掘検討推進
 - ・ 大型洋上風力やバイオマスを中心に、開発案件や事業参画機会を検討中
- **当社が検討コンソーシアム等へ参画する主な再生可能エネルギー開発プロジェクト**
 - （仮称）能代・三種・男鹿沖洋上風力発電事業：2020年11月現在「方法書」手続中
 - （仮称）秋田中央海域洋上風力発電事業：2020年11月現在「配慮書」手続終了
 - （仮称）遊佐町沖洋上風力発電事業：2020年11月現在「配慮書」手続中

*1 当社を含む民間5社が事業パートナーとして出資する福島ガス発電(株)（当社出資比率33%）が運用管理を実施

新規事業

次世代技術開発

- **CCS（二酸化炭素の回収・貯留）/CCUS（二酸化炭素の回収・活用・貯留）**
 - ・ 日本CCS調査(株)の苫小牧CCS実証試験は、CO₂累計圧入量30万t達成後のモニタリングを継続中
 - ・ 二酸化炭素地中貯留技術研究組合の組合員として、NEDO「CCS研究開発・実証関連事業」の「安全なCCS実施のためのCO₂貯留技術の研究開発事業」へ参画中
- **メタンハイドレート開発技術**
 - ・ 砂層型メタンハイドレート海洋生産試験などへ、日本メタンハイドレート調査(株)の一員として参画中
- **海洋鉱物資源探査技術**
 - ・ 内閣府・戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期"革新的深海資源調査技術"に、次世代海洋資源調査技術研究組合（J-MARES）の組合員として参画中

新たなビジネスモデル構築

- **国内の新たなLNG輸送供給モデル構築**
 - ・ LNGバンカリング：当社LNG供給拠点のある北海道、東北、新潟を中心に、定期航路の船舶リプレースにあわせ今後数年間での段階的な導入を視野
 - ・ LNGを燃料とするトラック導入検討：北海道、東北で検討のための協議会を立ち上げ
- **海外におけるLNG中下流ビジネス**
 - ・ LNGバンカリングの事業参入機会を模索
 - ・ LNG受入基地、コンテナ充填施設、サテライトステーションなどを含むLNG関連事業への参入を目指す

新規事業シーズ

- **新たなエネルギーの開発供給**
 - ・ 使用済み食用油原料の次世代航空機燃料（SAF）国内バリューチェーン構築：事業可能性を検討中
- **既存事業周辺ソリューション開発**
 - ・ 当社グループ会社その他と共同でのソリューション開発やマーケティング案件を随時検討
 - ✓ 石油関連ソリューション：ベンチャー企業(株)オルクス開発の油吸着材「アブラ食らうど」の拡販マーケティング

6. 略語集

■用語

BOE(D)	Barrels of Oil Equivalent (per Day)	石油換算バーレル（日量）
CCS	Carbon dioxide Capture and Storage	二酸化炭素回収・貯留
CCUS	Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage	二酸化炭素回収・活用・貯留
CIF	Cost, Insurance and Freight	運賃、保険料込条件
FID	Final Investment Decision	最終投資意思決定
GHG	Greenhouse Gas	温室効果ガス
HSE	Health, Safety and Environment	労働安全衛生・環境
JCC	Japan Crude Cocktail	全日本平均原油輸入CIF価格
MH	Methane Hydrate	メタンハイドレート
RRR	Reserve Replacement Ratio	埋蔵量置換率
SAF	Sustainable Aviation Fuel	持続可能な航空燃料
WTI	West Texas Intermediate	ウェスト・テキサス・インターミディエイト原油

■主要な子会社・持分法適用会社

JACOS	Japex Canada Oil Sands Limited	カナダ・オイルサンドプロジェクト
Jガラフ	(株)ジャペックスガラフ	イラク・ガラフプロジェクト
JML	JAPEX Montney Ltd.	カナダ・シェールガスプロジェクト
SODECO	Sakhalin Oil & Gas Development Co., Ltd.	ロシア・サハリン1プロジェクト
EMPI	Energi Mega Pratama Inc.	インドネシア・カンゲアンプロジェクト
DGN	Diamond Gas Netherlands B.V.	マレーシアLNG ティガプロジェクト
FGP	福島ガス発電（株）	天然ガス火力発電事業

注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。
事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

注: 本資料においては、**(a)** は実績数値 (actual results) を、**(f)** は予想数値 (forecasts) を示しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 コーポレートコミュニケーション室 電話03-6268-7111